マチに学び都市を楽しむ／まちづくりNPO

特定非営利活動法人 もうひとつの旅クラブ

2010年度（第9期）事業報告書

1. 旅クラブが2010年度に取り組んだ事業実績

2010 年度は、「大阪まち遊学」、「ご来光カフェ」といった当 NPO がこれまでに開発、実践してきた事業の継続を中心に活動するとともに、前年度の「水都大阪 2009」にて当 NPO が深く関わった「北浜テラス」、「OSAKA 旅めがね」を継続・継承していく活動に注力した。特に「大阪まち遊学」は新人メンバーも含めてコースの企画・立案を行い、充実した内容となった。水都大阪 2009 の期間終了後も継続して実施されている「OSAKA 旅めがね」においては、その運営において、当 NPO メンバーが主力となっている。

また、2010 年度は川の駅はちけんやや天満 HOPE 修景整備などにおいて、メンバーの専門を存分に活かした活動の展開もあった。さらに新聞、雑誌等での情報発信も充実したものとなった。

以下が本年度の主な事業項目一覧である。

（1）大阪まち遊学の企画・実施
（2）「ご来光カフェ」中之島物語～その魅力と未力　の企画・運営
（3）地域特性を活かした活性化方策の事例調査
（4）OSAKA 旅めがねの運営協力
（5）大阪川床・北浜テラスの企画・調整および実施協力
（6）川の駅はちけんや内における情報発信施設の整備
（7）天満 HOPE 修景整備・池田ビル改修設計
（8）情報提供、提言活動事業

これら事業の詳細や組織内評価分析を以下に報告する。

（1）大阪まち遊学の企画・実施

【事業趣旨・目的】

オープンガーデンの庭をまちに例える「オープンタウン」。自分の生活するまち（居住地でも勤務地でも構わない）を、その生活をその人の視点で紹介、自慢する、オープンにする。旅人とジモティとの出会いからこそ新たなコミュニティ・旅のプログラムが生まれる。

2007 年にスタートし、今年で 4 年目の実施となった。

【事業内容】

・7 コースのまち歩きプログラムの企画、開発、参加者募集、実施。

【事業成果】

実施日	エリア	タイトル	参加者数（お客さん）	参加者数（NPO 関係者）
6/26(土)	大正	大正、モ～1 杯!!	9 名	5 名
7/17(土)	高井田	モノづくりの現場の最先端に潜入	16 名	5 名
8/7(土)	環状線沿線	真夏の夜の大阪名物銭湯巡り	6 名	4 名
9/11(土)	梅香	アーティストの隠れ家を訪ねる	5 名	13 名
10/2(土)	阿倍野	スポーツの秋! 阿倍野に潜む スポーツの達人に会いに行こう!	3 名	6 名
10/24(日)	平林	Wood な香りが Good	14 名	4 名
11/6(土)	野田阪神界隈	下町音楽探偵団	14 名	6 名

・NPO 関係者を含め、延べ 110 名が参加し、コンスタントな集客を行えた。

・「モノづくりの現場の最先端に潜入・高井田」コースが、日本経済新聞の記事に掲載された。

・まち歩きにプラスして、銭湯に入る、卓球・ビリヤードをする、マイ箸を作る、楽器を演奏するといった体験もあり、コース内容の幅が広がった。

【活動写真】

大正

高井田

環状線沿線

梅香

阿倍野

野田阪神界隈

平林

主担当：泉理事長、岸田副理事長、岩田事務局長、福田理事、森理事、脇、河野

（２）「ご来光カフェ」 中之島物語～その魅力と未力 の企画・運営

【事業趣旨・目的】

市民共有の資産である「中之島の水辺」を舞台に「都心の自然」という魅力の発掘を行い、水辺という公共的空間の過ごし方、使い方を多様な側面から提案し、各人それぞれの「中之島時間」を発見していただくことで、実施期間後、１人でも多くの方に中之島の豊かな普段使いをしていただくことを目的とし、今年５年目の開催となった。

【事業内容】

・期　間：2010 年 10 月 1 日（金）～10 日（日）
・営業時間：日の出（5:50 頃）～8:30
・場　所：大阪水上バス淀屋橋港桟橋
・内　容：①桟橋を装飾し、テーブル・椅子を設置して朝日を眺めるカフェを営業､飲み物は 400 円で提供
②アクア mini によるミニクルーズの実施
（6:30 より随時、乗船料 1000 円ﾜﾝﾄﾞﾘﾝｸ付）
③専用ホームページによる PR と営業日誌の公開
④アンケートの実施
⑤継続的な開催のための賛同者・ボランティアスタッフの募集
・協　力：大阪水上バス株式会社

【事業成果】

前年と異なり本年は天候に恵まれ、営業予定 10 日のうち 8 日の営業となった。ボランティアスタッフも年々増えてきており、貴重な戦力となっている。期間中の来訪者は 342 名。過去 5 年間で 2 番目の人数となった。1 日あたりの来訪者数は例年通りで、コンスタントな集客を実現している。ご来光クルーズの乗船者数は 131 名で、昨年より乗船ウェイトは低かった。

マスコミの取材は、10/7（木）ラジオ関西、10/10 ラジオ大阪の 2 件。パブリシティとしては、スルッとＫＡＮＳＡＩ「遊びマップ 10 月号」、京阪「K－Press」に情報を掲載頂き、集客に大きく影響を与えた。

アンケートの中で、再訪を希望し、友人・知人へ紹介したいと回答した訪問者の数が非常に多く、企画自体の満足度は極めて高いと考えられる。満足の内容は訪問者によって様々であるが、共通するキーワードとしては、「非日常」「ゆったり（癒し)」「きれい（自然・景色)」「リフレッシュ」「大阪で（近場)」といったものが挙げられる。これらは全て、非日常的な行動である「旅」と共通するキーワードであると考えられ、それを近場である大阪中之島で体験できる、つまり、「もうひとつの旅クラブの活動主旨」を具現化した企画として、訪問者からも認知されてきた傾向にあると考えられる。また、今回は天候の都合で中止となったが、大阪旅めがねプレミアムツアーとのコラボ企画のように当企画の活用の多様性を示唆出来た。

【アンケート（抜粋）】

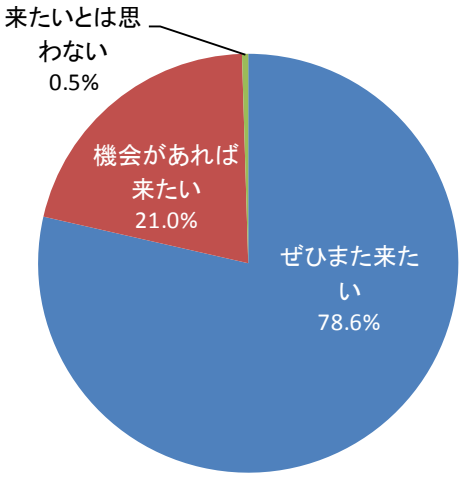


図　ご来光カフェにまた来たいですか

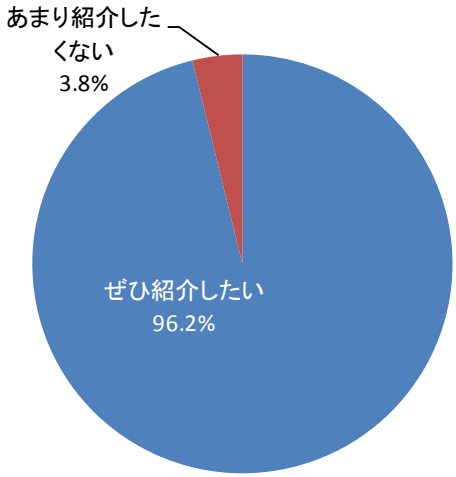


図　ご来光カフェを友人･知人に紹介したいですか

【活動写真】

主担当：岩田事務局長、脇

（３）地域特性を活かした活性化方策の事例調査

【事業趣旨・目的】

近年、着地型観光によるまちづくりは地域活性化の主要なテーマのひとつとなり、住民が来訪者を意識し行動することによって、地域に対する誇りを感じ、暮らしを豊かにしようとする試みが全国各地で実施されている。交流人口の増大こそが地域活力の低下に抵抗する有力な方法であるといえ、来訪者へまちの歴史や暮らしの文化を紹介し、交流することは、まちに暮らす人々の生きがいに通じ、コミュニティの活性化に結びつくことが期待されている。しかし一方で、まちの個性や魅力を発見し共有しても、地域外への発信や財源確保が十分でないなどの課題も抱えている。

本調査は、大阪および各地での地域の魅力を活かした活性化への取り組みの事例を調査し、着地型観光プログラムといわれる、地域の魅力を活かし地域密着の体験プログラムに着目し、それらの内容や継続のための工夫を探ることを通じて、今後の大阪活性化への検討推進に資することを目的とする。

【事業内容】

・期　間：2009 年 12 月 16 日～2010 年 2 月 26 日
・対象エリア：大阪及び全国
・委託者：関西電力株式会社
・内　容：①大阪における地域特性を活かした活性化への取り組みの実態調査
　　②他都市の先進事例調査
　　③まとめと考察

NPO ハットウオンパク（別府八湯ウォーク）

別府わくわく混浴アパートメント

㈱南信州観光公社

農林業体験（農家民宿）

主担当：泉理事長、岸田副理事長、岩田理事、福田理事

（4）OSAKA 旅めがねの運営協力

【事業趣旨・目的】

OSAKA 旅めがねは、継続的に地域コミュニティの元気を育むソーシャルビジネスを目指している。着地型観光プログラムを通じて、大阪の真の魅力を再発見し、地域と参加者との交流機会を創出する。

水都大阪 2009 終了後、当 NPO から㈲ハートビートプランへ移行し、3 社コンソーシアム（㈱インプリージョン・㈲ハートビートプラン・山根エンタープライズ㈱）において事業を継続している。当 NPO は事業立ち上げから深く関わっており、継続して NPO メンバーが企画運営、案内人、プロモーションなど様々な形で役割を担っている。

【運営協力概要】

①事務局会議への参画

旅めがねの運営方針の決定

担当：岩田事務局長（泉理事長は㈲ハートビートプランとして参画）

②リーダーさん会議のとりまとめ

事務局とエリアクルーをつなぐ組織体制の模索

担当：岩田事務局長、福田理事

③エリアクルーとして案内

プロの案内人としてお客様を案内

担当：岸田副理事長、岩田事務局長、福田理事、森、脇、羽田

④プロモーション

様々なチャンネルでＰＲ支援

担当：岸田副理事長、岩田事務局長、福田理事、森、脇、羽田

【活動写真】

消費者モニター調査
大阪産業創造館

大阪ミュージアムショップ出店

鶴橋コース案内

（5）大阪川床・北浜テラスの企画・調整および実施協力

【事業趣旨・目的】

今年は常設の川床が本格的に稼働し、各種規則の全体的な見直しと役員体制の強化、新たな新設テラスへの対応、各種イベントやプロモーション、護岸改修に伴う河川管理者との協議など、定常的な実施のための基礎を整える年となった。

【事業内容】

①理事会への出席
- 総会（4/20）
- 理事会（2/4、2/16、2/26、3/5、3/23、4/7、4/20、4/27、6/22、8/19、8/27、8/31、11/15）
- 大商水辺のランドスケープ研究会（2/25）
- イベント（9/22）

②テラスの設置・運営
- 規約改正、設置運用規則改正
- 川床設置運営費細則
- 覚書締結
- MOTO COFFEE 新設
- 堂島麦酒新設（店舗オープンはまだ）
- 北浜ルンバ新設準備

③許認可関連の協議
- 中之島水辺協議会への参加
- アドプト申請
- テラス新設や境界処理に関わる各種協議

④西大阪治水事務所との堤防改修・修景についての協議
- 会議（8/27、8/31、9/16、10/7、12/24）
- 土佐堀川左岸の堤防のあり方提案
- 修景工事のデザイン協議

⑤イベント
- 川床開き（3/19）
- 平成 OSAKA 天の川伝説（7/7）
- 北浜アコーディオンナイト（9/22）
- 難波橋橋洗い（9/25）

⑥プロモーション
- サイト更新
- 「北浜で川床を出す」パンフレット作成

川床開き（少彦名神社による安全祈願）

堂島麦酒テラス新設

堤防修景協議

パンフレット作成

【活動写真】

主担当：泉理事長、岸田副理事長、岩田理事、福田理事
（泉、岸田は北浜水辺協議会の理事を兼ねる）

（６）川の駅はちけんや内における情報発信施設の整備

【事業趣旨・目的】

「川の駅はちけんや」は天満橋近く、昔八軒家浜として賑わった川岸に、水都大阪の水辺の拠点施設として整備された建物である。２階のメインアプローチから１階への階段を降りると、川を身近に感じられるレベルとなり、正面に約 400 ㎡の情報発信スペースが設けられている。この情報発信施設は、将来のフレキシビリティーを確保するために、スペースだけが用意されており、運営団体が決まっていない中で、当面の情報発信・展示の機能を確保するため、仕切り壁や展示のための施設整備の委託を受けた。

【事業内容】

・委託者　　㈱はちけんや
・設計期間　2010 年 2 月～3 月
・施工期間　2010 年 3 月 23 日～26 日

【事業成果】

今回の施設整備に求められる機能を満たすために、三つの新たなユニットをデザインした。まず、さまざまな展示に対応し、またバックヤードも確保するために自由に仕切ることのできるパネルシステム。次にパネルシステムを補完し、簡易に展示スペースづくりができる掲示板ユニット。そして、さまざまな情報発信ツール、特に A4 サイズを中心としたパンフレットやフライヤーを展示・配布するためのユニット台である。この三つのユニットを扱いやすく、安価かつ耐久性ももたせながら、この施設に相応しく、水辺の景観にも調和する手作り感と温もりのある木の素材により実現したのが、名付けて「木の情報発信ツール三部作」である。

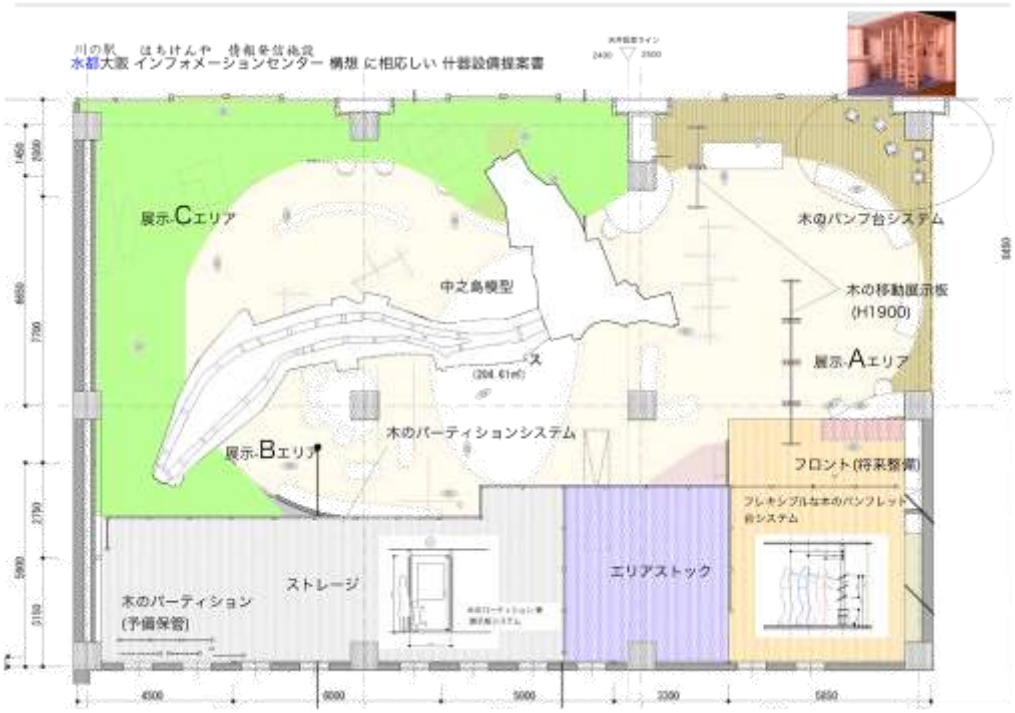
通常は建具の芯などに使われるポプラの木片を組み合わせてできた狂いが少なく頑強な素材の断面を生かして組み合わせて加工したもので三つのユニット「木のパーティション」「木の掲示板」「木のパンフレット台」とも同じ素材で統一されている。これにより味気ないオフィス仕様の既製品パーティションではできない統一感のある手作りの温もりのある空間をフレキシブルに創りだすことができる。手軽に掲示物をピンナップしても跡が目立たない、それでいて木の素材感がしっかりあって丈夫な素材である。保護塗料もドイツ製の健康塗料を塗布していて安心して使うことができる。オープニングイベントで安藤忠雄氏の中之島模型展示を皮切りに、イベントごとの展示替えに柔軟に対応して、もうひとつの旅クラブがデザインした「木の情報発信ツール三部作」は本領を発揮しつつあるところである。

a.木のパーティション

b.木の掲示板

c.木のパンフレット台

名称		仕様
1.木のパーティション		
	柱	LVL 合板(ポプラ)45 角柱溝加工、保護塗料塗布(リボス社) 上下はアジャスター金物にて天井と床に圧着固定。
	パネル	ラワン合板に LVL 合板(ポプラ)小口貼り、保護塗料塗布
	片開き戸	LVL 枠組材の表裏に LVL 合板(ポプラ)小口貼り、保護塗料塗布 ステンレス旗丁番・ステンレスレバーハンドル、シリンダー錠
2.木のパンフレット台		
	柱	LVL 合板(ポプラ)90 角柱切込加工、アクリ加工板とロシアンバーチ合板棚板差込。保護塗料塗布上下、アジャスター金物にて圧着固定。
	パンフ台	アクリ加工品、パンフ押さえ同材
	棚板	ロシアンバーチ合板,保護塗料塗布(リボス社スパロス)棚板差込
3.木の展示パネル		
	パネル	ラワン合板に LVL 合板(ポプラ)小口貼り、保護塗料塗布
	脚	LVL 合板(ポプラ)45 角柱溝加工、ロシアンバーチ合板にて補強、下部にアジャスター、保護塗料塗布
4.照明器具		
	照明器具	ラインダクト用ダイクロハロゲンスポットライト 鋼製シルバーメタリック塗装
	ハロゲンランプ	40w ダイクロハロゲン球　広角　50Φ 40w ダイクロハロゲン球　中角　50Φ



主担当：岩田事務局長

（7）天満HOPE修景整備・池田ビル改修設計

【事業趣旨・目的】

昔ながらのまちなみが残る大阪天満宮、菅原町周辺では、2008 年 6 月に天満地区 HOPE ゾーン協議会が設立され、大阪市と地域住民が協力して「まちなみガイドライン」に沿った修景整備が進められている。池田ビルは大阪天満宮の表参道に面した小さな５階建てのテナントビルで、１階には当 NPO メンバーでもある井上彰氏が経営する「祭屋・梅の助」が入居している。

建物の間口は２間(約 3.6m)、柱型を除いた店舗の有効間口はまさに１間(約 1.8m)しかない極小の空間であり、道路境界はかろうじて 10cm の余裕があるだけで、ほぼいっぱいに建物が建っているという条件の下、天満 HOPE 計画でのまちなみ修景設計第一弾となる修景設計を実施した。

【事業内容】

・委託者　　池田和夫氏
・設計期間　2009 年 9 月～12 月
・施工期間　2010 年 1 月～ 3 月

【事業成果】

建物全体の間口を使い、町家の軒庇を意識した木製格子を 10 ㎝の空間を利用して取り付ける。２種類の部材を交互に張ってリズムを持たせながらできるだけ彫りを深くしつつ、全体は水平ラインを意識させる横長のプロポーションとして、将来的にまち並みが連続していくための要素とした。次に天満 HOPE のテーマ「しつらい空間」を柱間のスペースに挟み込む。上部は間口いっぱいを意識した光格子、右の 5 コマは店の屋号が格子に浮かび上がる内照式のサインである。右下には大きなしつらい空間を同素材のショーケースとして要素の連携を図った。建具は上部木製格子と同素材・同意匠で統一感を持つ様に配慮した。上部のエアコン室外機にも木製格子を取り巻き、景観阻害要素を目立たないようにしている。

それぞれの素材は、適材適所と年を経てなお素材感を増すよう吟味したもので構成されている。外部格子や建具などに用いたのは、きめが細かく耐久性のある国内産の松材を神戸の名工による見立てで加工組立してもらっている。また風雨にさらされる部分に使用する鉄材は亜鉛メッキの上に過酸化マンガン処理を加えることによりトーンを落としてなじませている。

今回は「大阪まち遊学」のネットワークを存分に活かすこととなった。しつらい空間の精巧な鉄

井濱鋳造所-溶けた鉄が砂型に注ぎ込まれる瞬間

大阪まち遊学-西六で訪れた LOOP　中央:花里氏

のショーケースは 2009 年の「西六エリア(西区)」で出会った鉄の工房「LOOP（ループ)」の作品であり、ファサードの両袖を飾る重厚な梅鉢のレリーフは同じく「玉造エリア(東成区)」でいまも砂型鋳物の手法を守り続ける「井濱鋳造所」に依頼した。そして地元で伝統を受け継ぐ「河井提灯」からぼてふり提灯を寄贈いただいた。河井提灯は 2008 年「天満天神エリア（北区)」のまち歩きで作業場を訪問している。

このような人や素材、手業の総和として今回の天満 HOPE 池田ビル修景プロジェクトは成り立っている。

しつらい空間にはさっそく地元発祥の伝統工芸品である天満切子が飾られていて、通りがかりの人もふと足を止めて店主としばしの会話を楽しむ様子が見受けられる。店舗も多くの人でにぎわい、時を忘れてくつろぐお客さんがひきも切らない様子である。このように新たに出会う人の輪や魅力ある建築の輪が広がりつつある。

鋳造された天満 HOPE の印章レリーフ

上下に配されたしつらい空間のｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝ

しつらい空間を介して会話が弾む

しつらい空間に飾られた天満切子

※大阪市 HOPE（ホープ）ゾーン事業とは、歴史的・文化的な雰囲気等に恵まれた地域を、大阪の居住地イメージを高めるゾーンとして位置づけ、地域住民等と協力しながら建物の修景等によるまちなみ整備の誘導や地域魅力の情報発信などを行い、特色ある居住地の形成を図る事業。

主担当：岩田事務局長

（8）情報提供、提言活動事業

（1）～（8）の他にも、まちづくり NPO として、大阪のまちの魅力を再発見・開拓し、多くの人々と共有するために、各種情報提供や提言活動への参加などを積極的に展開した。

◆各種委員会・審議会等への参加

①中之島活性化実行委員会への参加

・事務局：近畿運輸局、京阪電鉄、もうひとつの旅クラブ
・実施日：2010 年 2 月 9 日（火）（第 2 回）
・担　当：泉理事長、岸田副理事長、岩田事務局長、福田理事
・備　考：2010 年 3 月に発展的解散

②水辺のまちづくり企画推進委員会

・事務局：水都大阪推進委員会
・実施日：2010 年 5 月 21 日（金）（第 1 回）、8 月 6 日（金）（第 2 回）、11 月 12 日（金）（第 3 回）
・担　当：泉理事長、岩田事務局長

③水辺のランドスケープ研究会

・事務局：大阪商工会議所
・実施日：12 月 6 日（月）
・担　当：泉理事長

④淀川活性化ワーキング（前②の水辺のまちづくり企画推進委員会のサブワーキング）

・事務局：水都大阪推進委員会
・実施日：2010 年 12 月 17 日（金）
・担　当：泉理事長

⑤関西・大阪文化力会議

・事務局：(財)大阪 21 世紀協会
・実施日：2010 年 1 月 28 日（木）
・担　当：泉理事長

⑥ふろいこか～2010

・事務局：ふろいこか～
・実施日：11 月 7 日（日）
・担　当：岩田事務局長、脇
・備　考：寿温泉（港区弁天）にて，大阪まち遊学「真夏の夜の大阪名物銭湯巡り・環状線南編」活動報告

⑦都市をつくる仕事 U-PUB-01「大阪の水辺再生」

・事務局：日本都市計画学会関西支部次世代の関西研究会
・実施日：10 月 30 日（土）
・担　当：泉理事長

◆ホームページによる情報提供

当 NPO の社会的プレゼンスの向上を目指し、2007 年度にリニューアルしたホームページ。今年度も最新情報の継続的な提供を試みた。ご来光カフェ、大阪まち遊学、大阪旅めがね、北浜テラス等の旅クラブイベントや報道の話題を中心に、36 回の更新作業を実施した（H21 は 13 回）。また、サイト更新時には、メンバー個人の twitter や facebook でもアナウンスを始めた（夏以降）。What's New！のタイトルは次のとおり。

①イベント

・4 月 17 日，ものがたり観光シンポジウムが開催されます！（2010 年 3 月 9 日 up）
・2010 年版北浜テラスがオープン！（2010 年 3 月 19 日 up）
・大阪まち遊学 2009-西六レポート（2010 年 3 月 27 日 up）
・大阪まち遊学 2009-大正レポート（2010 年 3 月 27 日 up）
・【予告】今年もやります！大阪まち遊学 2010（2010 年 4 月 27 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（6 月）：大正、モ～一杯 2010（2010 年 6 月 7 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（7 月）：モノづくりの現場の最先端に潜入！・高井田（2010 年 6 月 15 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（8 月）：真夏の夜の大阪名物銭湯巡り・環状線南編（2010 年 6 月 25 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（9 月）：アーティストの隠れ家を訪ねる・梅香（2010 年 6 月 28 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（10 月）：スポーツの秋！阿倍野に潜むスポーツの達人に会いに行こう！・松虫王子（2010 年 6 月 29 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（10 月-2）：Wood な香りが Good・平林（2010 年 6 月 30 日 up）
・【ご案内】大阪まち遊学 2010（11 月）：下町音楽探偵団・野田阪神界隈（2010 年 7 月 1 日 up）
・大阪まち遊学 2010 フライヤー完成！(2010 年 7 月 2 日 up)
・2009 年度（第 8 期）事業報告書 up(2010 年 7 月 2 日 up)
・大阪まち遊学 2010-大正レポート（2010 年 7 月 16 日 up）
・大阪まち遊学 2010-高井田は本日生中継！（2010 年 7 月 17 日 up）
・大阪まち遊学 2010-高井田レポート（2010 年 8 月 5 日 up）
・2010 年 9 月 25 日「食旅と観光まちづくり」セミナー&ツアー（2010 年 8 月 18 日 up）
・大阪まち遊学 2010-銭湯レポート（2010 年 8 月 28 日 up）
・大阪まち遊学 2010 は残り 4 コース！（2010 年 8 月 28 日 up）
・【ご案内】今年もやります！ご来光カフェ 2010（2010 年 9 月 11 日 up）
・【ご案内】大阪旅めがねプレミアム「本邦初！オールナイトで水辺を楽しむ」（2010 年 9 月 11 日 up）
・大阪まち遊学 2010-梅香レポート（2010 年 9 月 27 日 up）
・大阪まち遊学 2010-松虫王子レポート（2010 年 10 月 9 日 up）

②報道

・李有師が朝日新聞に寄稿（2010 年 3 月 1 日 up）
・もうひとつの旅クラブが鳴海邦碩著「都市の自由空間」で取り上げられました（2010 年 3 月 1 日 up）

・泉英明が「多士彩才」に登場（2010 年 3 月 30 日 up）
・OSAKA*文化力で関西・大阪文化力会議の様子が紹介されています！（2010 年 4 月 14 日 up）
・「天満話房 祭屋梅の助」が毎日新聞で紹介されました（2010 年 4 月 27 日 up）
・JR 大阪駅でアンモナイトを探せ！（2010 年 5 月 20 日 up）
・続大阪「かくれた　ええとこ」再発見コンクール。（2010 年 5 月 20 日 up）
・「クジラ」や迷路・・・秘密の大阪駅（2010 年 7 月 16 日 up）
・「大阪まち遊学：モノづくりの現場の最先端に潜入・高井田」が日経新聞で紹介されました（2010 年 7 月 30 日 up）
・雑誌「建築人」で紹介されました！（2010 年 8 月 23 日 up）
・もうひとつの旅クラブが FM 千里「Riverside Afternoon」に登場しました（2010 年 9 月 13 日 up）
・ご来光カフェがラジオ関西で紹介されました（2010 年 10 月 9 日 up）

2008年6月16日よりGoogle Analyticsを用いてトップページのアクセスデータを取得している。アクセス数は多いとはいえないが，ご来光カフェの時期が最も多い。主な内容は次のとおり。

・アクセス数は，ご来光カフェ準備期間と開催中が最も高い。この傾向は昨年度と同じ。最高値は 10 月 6 日に 42 セッションを記録（昨年の最高は 141 セッション（10 月 1 日））。ご来光カフェの注目度が高いことを示している。
・アクセス国は，日本が 98.5%と断然多いが，米国、スイス、中国、英国、フランス、ロシア、ニュージーランド、ドイツ、ブラジルからのアクセスもあった。
・参照元は，　google が 30%，direct アクセスが 19%，yahoo が 18%。
・検索キーワードは，「もうひとつの旅クラブ」、「旅クラブ」、「ご来光カフェ」、「大阪まち遊学」など。

※　セッションについて：ユーザーが該当サイトで 30 分以上操作を行なわなかった場合、それ以降の操作は新しいセッションとみなされる。一旦，該当サイトを離れたユーザーが 30 分以内に同じサイトに戻ってきた場合は、最初のセッションの一部としてカウントされる。

※

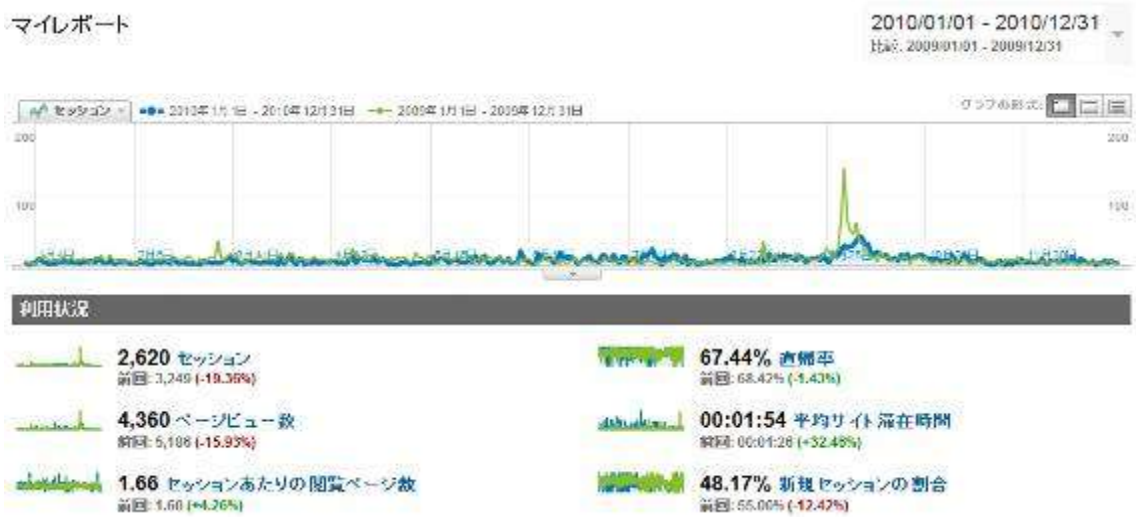


図 Google Analytics 解析画面（青字：2010/1/1～12/31、緑字：2009/1/1～12/31）

◆新聞等への掲載

NPO 活動の実施を通じた取材、投稿により、当 NPO の活動理念、活動内容が以下の新聞・雑誌に掲載された。

1. 朝日新聞朝刊「ニッポン観光　瀬戸内海の多島美を生かせ」（2010 年 2 月 25 日）（李理事）
2. 鳴海邦碩著「都市の自由空間」学芸出版社　p.205～
3. (財)大阪 21 世紀協会「多士彩才」（泉理事長）
4. (財)大阪 21 世紀協会「OSAKA*文化力」No.108・109 合併号 2010 年 3 月（泉理事長）
5. 読売新聞朝刊「常設なるか「北浜テラス」」（2010 年 3 月 21 日）（泉理事長，岸田副理事長，岩田事務局長，福田理事）
6. 毎日新聞夕刊「天満話房 祭屋梅の助」（2010 年 4 月 22 日）（岩田事務局長）
7. 大阪日日新聞「アンモナイトを探せ」（2010 年 5 月 17 日）（岩田事務局長）
8. (社)日本建築協会『続大阪「かくれた　ええとこ」再発見コンクール』入選（2010 年 3 月 24 日）（福田理事）
9. ㈱フォーラムエイト機関誌「都市と建築のブログ vol.5 信濃大町：北アルプスの湧水を活かして」（2010 年 5 月 1 日）（福田理事）
10. 日本経済新聞夕刊『「クジラ」や迷路…秘密の大阪駅』（2010 年 7 月 7 日）（岩田事務局長）
11. 日本経済新聞夕刊「町工場の技 驚き満載」（2010 年 7 月 28 日）（泉理事長）
12. (社)大阪府建築士会「建築人」（2010 年 8 月号）（泉理事長）
13. SAVVY「エリアクルーと行くディープな大阪局所ツアー」（2010 年 9 月号）（岩田事務局長）
14. FM 千里「Riverside Afternoon」（2010 年 9 月 9 日）（泉理事長、岩田事務局長）
15. 大阪スポーツ「下町の味 満腹ウォーク」（2010 年 9 月 10 日）（福田理事）
16. ラジオ関西「谷五郎のこころにきくラジオ」（2010 年 10 月 7 日）（岩田事務局長）
17. ラジオ大阪「サウンドデッサン～音ごころ～」（2010 年 10 月 10 日）（岩田事務局長）

1

2

3

4

大阪・北浜のビジネス街に設けられた川床「北浜テラス」が19日、土佐堀川左岸の飲食店で始まり、水辺の景色を眺めながら食事を楽しむ人たちでにぎわった＝写真＝。

川沿いの活性化につなげようと、周辺のビルやテナント関係者でつくる「北浜水辺協議会」が企画。魚料理、手打ちそば、イタリア

常設なるか「北浜テラス

料理、カフェの4店舗が参加した。

川床は2008年秋から2度の試験実施を経て、昨年の「水都大阪2009」で設置され、観光客らに人気を集めた。

今年から常設化を目指しており、同協議会のメンバーらは近くの神社で安全祈願。土佐堀川の船上からおはらいを行った。

5

「天満話芸 祭屋梅の助」

店がそのまま落語調

6

アンモナイトを探せ

JR大阪駅

「見つけた人は幸せになれる」

化石は直径
5～9㌢ほど

7

9

「クシラ」や迷路…秘密の大阪駅

目を凝らすと遊び心

絶えず改修、魅力増す

10

観光都市めざす東大阪

町工場の技 驚き満載

神社・映画 隠れた遺産も

11

水都大阪のまちづくりの展望と課題

12

エリアグルーと行く
ディープな大阪"厨所"ツアー

13

川に囲まれた町 大正区 を探検

DNA

下町の味 満腹ウオーク

沖縄料理 レトロ居酒屋

15

2. 旅クラブの組織活動(組織活動の充実と強化)と財源確保

(1)組織活動、市民参加による事業推進

①会員の拡大

大阪まち遊学における常連参加者との交流やご来光カフェにおける運営ボランティアスタッフの充実などを通じ、新規会員の増強を進め、当 NPO の活動主旨に賛同いただける方の発掘に努めた。会員については、2 名の新規入会があった。

◇2010 年度の会員数

・正会員 28 名（前年度比 2 名増）

・賛助会員 0 名（前年度比増減なし）

②組織活動

前期と同様に運営委員会を月例で開催し、大阪まち遊学、ご来光カフェなどの事業の企画・実施方策等を協議した。企画調査業務など専門性が求められる事業においては、受託先との会議やとりまとめ作業は担当理事を中心に行うものの、多才な会員のスキルをできる限り活かした作業分担を図った。

◇総会（第 8 回）の開催

・開催日時：2010 年 3 月 21 日（日）15：00～16：15

・会　場：NPO 事務局事務所（大阪市中央区東平）

・出　席：7 名（書面出席 15 名）、欠席 4 名

・議　案：2009 年度事業報告及び決算報告

2010 年度事業計画及び収支予算の審議

役員改選（木村理事退任→森理事新任）

◇理事会の開催

理事会は総会に先立ち 3 月 7 日（日）に 6 名全員参加にて行われた。

なお総会に伴い 3 月 21 日の総会後にも理事長など役員選任の理事会が行われた。

◇運営委員会の開催

以下の通り、理事・会員混合型の運営委員会を開催し、各事業の企画・運営協議を行った。

・ 1 月 18 日（月）5 名参加　・ 2 月 10 日（水）6 名参加　・ 4 月 23 日（金）7 名参加

・ 5 月 18 日（火）7 名参加　・ 6 月 12 日（土）8 名参加　・ 7 月 20 日（月）8 名参加

・ 8 月 25 日（水）6 名参加　・ 9 月 24 日（金）8 名参加　・11 月 29 日（月）7 名参加

各運営委員会は当 NPO に興味のある人にオープンで行われ、11 月には 2 名のオブザーバー参加を得て行われた。

(2)財源確保の充実と課題

2010 年度も収入面では企画調査業務の委託費にて運営の基盤となる定常的な経費がまかなわれている。ご来光カフェや大阪まち遊学など定着化した自主プログラムについては、プログラム毎に収支バランスを取る原則で、着実に継続しているが、多様な活動を継続していくためには、外部からの委託業務の受託が今後とも重要である。受託量の確保と柔軟性のある NPO 運営を図っていく必要がある。